

国立大学法人愛媛大学学長選考規程第11条に基づく
大橋 裕一 学長の業績評価結果

学長選考会議決定の「学長に求められる資質・能力」が発揮されていること並びに選考の際に提出された所見及び中期目標・中期計画の達成に向けて、学長の職務が適切に遂行されていることを確認した。

学長任期一期目に「3つの戦略」《戦略1：地域の持続的発展を支える人材育成の推進，戦略2：地域産業イノベーションを創出する機能の強化，戦略3：世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化》を策定し，二期目もこの戦略に則って，地域志向人材育成のための改組，地域活性化のための地域密着型センターの設置，学術研究の強みをさらに深化させるための共同利用・共同研究拠点の充実などに積極的に取り組んでいる。また，より機動的で戦略的な大学経営を行うため，授業料減免・給付型奨学金導入への対応や，人事給与マネジメント改革《客観的な業績評価に基づく年俸制への全面移行》なども着実に進めている。これら数々の組織・制度等の改革に取り組み，成果を挙げていることは評価できる。また，外部資金の獲得強化，基金の活用など自己収入の増加及び経費の抑制により，財政の健全性を維持・向上させていることも評価できる。

本学の強みを活かした戦略の策定・実施や管理運営の改革を推進していく中で，地域から信頼され，愛される大学を目指して引き続き尽力されることを期待する。

令和元年12月12日

国立大学法人愛媛大学学長選考会議